

平成29年度大阪ストーリープロジェクト事業 採択事業(案)の概要

(単位：千円)

| 申請団体 | テーマ | 事業名称 | 趣旨及び目的 | 実施内容・事業額 | 事業効果・成果指標 |
|------------------|-------------------------------------|-------------------|---|--|--|
| ストーリー① | | | | | |
| 泉州観光プロモーション推進協議会 | ②生活・文化・アート ③スポーツ ④食 ⑥自然・景観 | 泉州サイクルルート事業 | 関西国際空港のお膝元である泉州地域は、歴史・文化・食・ものづくりのいずれも高いポテンシャルを持った地域であるとともに、我が国最大の自転車製品の生産地である堺市をはじめ、各市町が独自に自転車を活用したまちづくりを早期から進めている。 近年は、閑空を利用するインバウンド客が順調に増加しており、特に台湾や欧米などにおいて、自転車ツーリングを目的とした日本への個人旅行者も増加している。これらのインバウンド客をはじめとする誘客を図るため、泉州地域の資源のうち、特にインバウンド客が興味を持っている「食」と「体験」をテーマとした資源を自転車で巡るための環境を整備し、ツーリング環境の向上に取り組む。 | <p>サイクルステーション機能の整備 (679)</p> <p>ルートマップ作成及びアプリ対応 (1,798)</p> <p>事業費総額：2,477千円 補助金申請額：1,238千円</p> | <p><事業効果> 泉州サイクルルートを活用して泉州地域に点在する観光資源をつなげることに、単に観光資源と自転車のアピールにつながるだけでなく、同時に観光資源を結び移動手段の課題解消も図られる。それらの効果を、閑空を利用するインバウンド客を含めた旅行者の増加や自転車のまち・地域としてのブランドの育成につなげる。</p> <p><成果指標> ・アプリのダウンロード数 (指標：72回/月) ・公式Facebook関連記事「いいね」数 (指標：100いいね/1記事)</p> |
| ストーリー② | | | | | |
| 泉佐野市 | ②生活・文化・アート ④食 ⑥自然・景観 ⑧その他 | りんくうタウン魅力創出事業 | 関西国際空港の対岸に位置し、りんくうプレミアムアウトレット等の商業施設も多数存在するりんくうタウンには、インバウンドを始め、他府県からも多くの観光客が訪れている。また本市域のみならず、本市から泉南市にかけて、夕陽百選や恋人の聖地にも認定されている「マーブルビーチ」があり、大阪府下のデートスポットとして、今日まで親しまれてきた。そのポテンシャルを活かし、マーブルビーチに隣接する「りんくう公園」に、仮称「恋人の丘」モニュメントを設置し、また泉南市域内のマーブルビーチにおける恋人の聖地と併せてPRしていくことにより、若者層の更なる誘客促進、りんくうタウン内や他エリアの観光施設間の回遊性の向上、リピーターの増加を図る。 また、観光情報誌として知名度の高い「るぶ」の泉佐野市版を作成し、新たに設置したモニュメントを含め、泉佐野市内の観光スポットの更なるPRを図っていくことを目的とする。 | <p>「(仮称)恋人の丘」モニュメント設置 (8,280)</p> <p>観光マップ作成 (5,197)</p> <p>事業費総額：13,477千円 補助金申請額：6,738千円</p> | <p><事業効果> りんくうタウンなどを目当てに訪れる観光客の周遊性を高め、市への来訪者数の増加につなげる。</p> <p><成果指標> ・モニュメント利用状況の調査 (初年度:南宮錠100個⇒以降1,000個) ・りんくう公園駐車場利用状況 (H27 約53,000台⇒H30 55,000台) ・りんくうまち処、閑空まち処の来場者数 (H28 164,174人⇒H30 170,000人)</p> |
| 泉南市 | ②生活・文化・アート ⑥自然・景観 | 「恋人の聖地」魅力創出事業 | 年間を通じてインバウンドを中心に観光客が訪れるりんくうタウンには、恋人の聖地にも認定されている「マーブルビーチ」があり、大阪府内のデートスポットとして、今日まで親しまれてきている。 そこで、閑空を起点として泉佐野市から泉南市へ続く海岸沿いのルートを「泉州・ロマンティック海道」と位置付け、写真映えするスポットとして、「恋人の聖地」として認定されているマーブルビーチの魅力を生かすことにより、当該エリアに若い世代を誘客し、りんくうタウン内の観光施設間の回遊性の向上、リピーターの向上を図る。 | <p>フотスポットとなるモニュメントの整備 (3,920)</p> <p>写真スポットを記載した観光パンフレットマップの作成 (92)</p> <p>事業費総額：4,013千円 補助金申請額：2,006千円</p> | <p><事業効果> 「恋人の聖地」「夕陽百選」に認定されているマーブルビーチにフオトスポットを整備することにより、夏だけではなく年間を通じて若者世代の誘客を図ることができる。</p> <p><成果指標> 「サザンびあ」来場者数 (H28 211,960人⇒H30 215,000人)</p> |
| ストーリー③ | | | | | |
| 和泉市 | ②生活・文化・アート ⑥自然・景観 | パブリックアート制作・情報発信事業 | 「和泉市観光振興戦略プラン」において和泉市久保惣記念美術館を中心とした半径2kmのエリアを「ミュージアムタウン」として設定している。当エリアは久保惣記念美術館のほか、いずみの国歴史館、和泉リサイクル環境公園、松尾寺などの観光スポットに加え、桃山学院大学が立地し、カフェ・レストランの集積する地域でもある。 美術館と連携したフオトスポットとなりうるパブリックアートの設置、美術館ホームページの多言語化及び積極的な情報発信を実施することで、インバウンドを含めた観光誘客を促進する。 | <p>パブリックアート制作 (8,829)</p> <p>美術館ホームページ (5,990)</p> <p>WEB・SNS等情報発信 (2,684)</p> <p>事業費総額：17,503千円 補助金申請額：8,751千円</p> | <p><事業効果> 複合的な魅力の創出と情報発信により、インバウンドを含めた来訪者の増加につなげる。</p> <p><成果指標> ・エリア内主要観光施設観光客数 (H28 401,111人⇒H31 572,400人) ・美術館年間来場者数 H28 28,265人⇒H31 29,000人) ・ミュージアムタウンWebサイト閲覧者数 (現状0⇒H31 12,000人)</p> |
| 高石市 | ②生活・文化・アート ⑥自然・景観 | 見どころ観光形成及び魅力発信事業 | 和泉市及び高石市の属する泉北地域は関西空港と大阪市との中間点に存在し、潜在的なインバウンド取り込みの素地が大いにある地域である。 高石市では臨海部における工場群の夜景が近年注目されるようになってきており、そこを見学してまわる「工場夜景ツアー」も好評を博している。工場夜景は効率的操業のための最適に設計された工場や設備(いわゆるプラント)の姿と、安全操業のために行われる夜間の照明が組み合わさって生まれ、一種の現代芸術である工場アートとしての側面もある。 和泉市における美術館と連携したフオトスポットとなりうるパブリックアートの設置と、美術館ホームページの多言語化や、高石市の工場夜景をPRするための多言語による案内看板、ARまたはQRを組み合わせた多言語併記のパンフレット、スクリーン等をを用いた積極的な情報発信、また将来的に高石市においてむべパブリックアートの設置を検討していく等することで、泉北地域における近代アートと現代アートによるインバウンドを含めた観光誘客を促進する。 | <p>多言語による工場夜景案内看板の設置及び撮影スポットの整備 (3,212)</p> <p>ARまたはQRを組み合わせた多言語併記の多言語パンフレットの製作 (1,426)</p> <p>スクリーン幕の設置 (150)</p> <p>事業費総額：4,788千円 補助金申請額：2,394千円</p> | <p><事業効果> 和泉市・高石市による泉北地域の複合的な魅力の創出と情報発信により、インバウンドを含めた来訪者の増加につなげる。</p> <p><成果指標> ・工場夜景ツアーの応募者数 (H28 300名⇒H29 330名) ・高石市の知名度「訪れたことがある」、「知っている」割合 (H27 31.1%⇒H32 35%) ・インバウンド滞在数 (H27 10,852人⇒H29 11,940人)</p> |
| ストーリー④ | | | | | |
| 河内長野市 | ①歴史 | 楠公史跡PR事業 | 楠公さんと親しまれている楠木正成・正行親子は、鎌倉時代末期から南北朝時代にかけて彗星の如くあられ、やがて時代の流れに消えていった。彼らが歴史上、名を残したのは、僅かな年月であったが、その生き様は逸話として後世に伝わり、そして今でもサムライヒーローとして、日本人の心を魅了し続けている。 聖地となっている彼らにまつわる有形・無形の文化遺産を磨き上げ、広域的にストーリーで結ぶことにより、観光資源としての魅力を向上させる。 千早赤阪村や河内長野市には数多くの楠公史跡が存在することから連携による統一的なPRやツアーコースを提案することにより、楠公の魅力と自然豊かな奥河内の魅力を共に発信し、外国人を含めた観光客の増加を図り、地域産業の活性化につなげる。 | <p>ストーリーを解説するパンフレットの作成 (488)</p> <p>事業費総額：488千円 補助金申請額：244千円</p> | <p><事業効果> 他自治体と連携し統一したPRを実施することにより、新たな楠公魅力を発信し、来訪者の増加と観光ツアーの事業化につなげる。</p> <p><成果指標> 市内観光施設利用者数 (H27 103万人⇒H32 108万人)</p> |
| 千早赤阪村 | ①歴史 | 楠公史跡ブラッシュアップ事業 | 千早赤阪村や河内長野市には数多くの楠公史跡が存在することから連携による統一的なPRやツアーコースを提案することにより、楠公の魅力と自然豊かな奥河内の魅力を共に発信し、外国人を含めた観光客の増加を図り、地域産業の活性化につなげる。 | <p>休憩施設用ベンチ(屋根付) (3,689)</p> <p>解説・案内板の設置 (2,363)</p> <p>事業費総額：6,052千円 補助金申請額：3,026千円</p> | <p><事業効果> 河内長野市に同じ。</p> <p><成果指標> ・村立郷土資料館来館者数 (H28 3,781人⇒H32 4,550人) ・金剛山ロープウェイ利用者数 (H28 112,967人⇒H32 146,000人)</p> |
| 合 計 | | | | (事業費ベース) (補助金ベース) | 48,798 24,397 |